

# 2019年度年次大会 記念CPD講演会

2019.6.29



2019年6月29日に、松本市のホテルモンターニュ松本において、長野県支部2019年度年次大会を開催いたしました。また、記念事業としてCPD(継続研鑽)講演会を開催いたしました。各委員会より、平成30年度の事業報告、2019年度の事業計画案についての説明と平成30年度の会計決算報告、2019年度の会計予算案についての説明がありました。



名誉教授  
薬学博士  
おびなた  
まさお  
氏  
はなにかー私がつくる遺伝子アート

記念CPD講演会は、東北大学名誉教授 薬学博士 帯刀 益夫氏より、「遺伝子とはなにかー私がつくる遺伝子アート」と題してご講演いただきました。最初に、ダーウィンの「種の起源」に始まり現代の「ヒトゲノムの解読」までに至る「生命科学の歴史」と、遺伝子の役割やそれを取りまく環境について解説して頂きました。そして、講演のサブテーマである「遺伝子アート」とその原理についてお話しを伺ったあと、完成したデザインや音楽を披露して頂きました。いずれも奇抜で、遺伝子アートが人間の創造力を超える可能性があると感じました。



## 会報目次

支部長挨拶	-----	1
新幹事の紹介	-----	2
長野県支部の組織と会員構成	-----	3
【2019年に行われた行事紹介】		
北信ブロックCPD講演会	-----	3
CPD講演会・合格者祝賀会	-----	3
中信ブロックCPD講演会	-----	4
東信ブロックCPD講演会	-----	4
2019年の広報活動	-----	4
CPD行事の予定	-----	5
長野県から委嘱を受けた委員会の紹介	-----	5
長野県支部協賛団体を募っています	-----	6
編集後記	-----	6

# 支部長挨拶

## 災害への備えを

令和元年10月12日～13日にかけて、台風19号により県内も千曲川流域を中心に甚大な被害を受けました。被害に遭われ大変な思いをされている皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、災害に対応された皆様、復旧にご尽力されている皆様に深く敬意を表します。

大水、河川堤防の越水や決壊、内水氾濫やバックウォーター、土砂災害により、住宅の全壊・半損壊・浸水、鉄橋や道路橋の落下、河川の護岸崩落、田畑・りんご園・福祉施設・工場・事業所・道路・上下水道施設・電気施設・林業・鉄道車両の被害など、各地で大変な事態となりました。

この水害で、私なりに災害対応について、感じたこと・考えたことなどを記載してみます。

- ・命を守ることが最優先である。
- ・非常時には連絡が取れていないところは聞く必要がある。
- ・自分がいる、あるいは活動する場所での災害危険性を理解する。（ハザードマップ、土砂災害危険箇所など）
- ・防災気象情報を真剣に生かす。
- ・非常時には、自分は大丈夫、今まで大丈夫だったからと思わずに、自分のこととして思い切って気持ちを非常時スイッチに切り替える。
- ・今回、情報伝達、避難の手助け、半鐘を鳴らすなど、日常活動・訓練の成果や非常時の果敢な行動があった。
- ・大変なことでしょうが、各施設の復旧を進める。
- ・国・県・市町村による防災インフラの確認・さらなる整備を進める。千曲川堤防決壊の原因究明、浅川内水氾濫の調査などが行われている。
- ・気候変動・地球温暖化によるゲリラ豪雨など一度に降る雨量や一地域の降水の量・期間の増加があり、被害想定が上がっている。国土交通省においては、社会資本整備審議会河川分科会「気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」を開催する。
- ・今回の水害で、浸水危険性のある場所は「想定していなかった。」と言えなくなりました。浸水想定、区域にある様々な施設において、自衛策が必要です。（長期計画と重要な施設・設備を守る緊急対策又は非常時における設備等を守る対策の確認、工場・事業所・様々な施設におけるBCP（事業継続計画）の確認・作成など）

- ・災害弱者への支援体制、福祉施設や病院などの避難確保計画を確認する。
- ・大量の災害廃棄物の処理も課題です。
- ・各主体によるソフト面・ハード面の対策・備えの確認と対応を行う。
- ・災害予防計画、応急対策計画、復旧計画と実際の対応との確認を行う。
- ・日常の、地道で具体的な実践・訓練が大切である。
- ・防災訓練・避難訓練を真剣に行う。
- ・状況や対応を記録に残す。
- ・今回、大きな犠牲のもとではありますが、この災害から様々な教訓があると思います。これらを対策・計画・実践に生かしていく。また伝えていく。
- ・気候変動、地球温暖化対策を推進する。気候変動の影響で豪雨などに少しでもならないように、温室効果ガスの削減が必要です。「省エネ・創エネ・蓄エネ」など、各主体が真剣に取り組むべき課題です。

溜まった土砂の搬出・災害廃棄物の処理、家屋の再建、様々な施設・設備の復旧など、これからまだ多くの対応が必要です。時間がかかることも多くあります。被災された方への様々な支援が求められています。また、台風などの風水害以外に、地震、噴火、豪雪、原子力災害、火災などへの備えも必要です。特に、地震は、いつでもどこでも起きることが考えられます。

「技術士倫理綱領」では、公衆の利益の優先（安全、健康及び福利を最優先）、持続可能性の確保（地球環境の保全等）などが掲げられています。技術士として、安全・安心、持続可能、活力ある社会のために、寄与したいものです。

（令和元年11月24日記）



長野県支部  
支部長 小口 雄平  
（衛生工学部門/環境部門）



## 新幹事の紹介

「令和元年度幹事選出選挙」により信任されました幹事のうち、新幹事4名を紹介します。

**氏名** : 池田 弘美 (建設部門)

**所属** : 長豊建設株式会社

【自己紹介】

出身、在住も長野県飯田市。学校(高専)卒業後、13年間愛知県、その後10年間長野県飯田市で自動車販売会社に在籍し、自動車検査員などの業務に就いてきました。44歳から建設会社に誘われ、54歳から下水処理関連の業務にも関わっています。学校卒業時に自分の目指した職種とは縁遠いものになってしまいました。経験した職種は多様ですが、「これといったものがない不安」に駆られ技術士を目指しました。それから「生涯技術者」が目標になり、常に技術士に関わっていきたいとの思いから日本技術士会に入会しました。そんな折、長野県支部幹事に加えていただきました。これから自己研鑽とともに社会貢献に尽力してまいりたいと思います。よろしくお願いします。



**氏名** : 野村 一郎 (電気電子部門)

**所属** : 富士電機株式会社

【自己紹介】

私は群馬県出身、現在は松本市に在住しています。転勤で松本、台湾、東京で勤務してきました。技術士資格取得と同時期に松本勤務に戻った3年前から技術士会のCPD講演会に参加しています。そこで初めて地質、生物、建設、化学、医療機器など、異業種の方々と触れ合う楽しさを味わっています。これは他の学協会にはない利点と思っています。教育機関、公共施設、企業の最先端技術を講演や、普段見る機会がない研究や現物に触られます。北信、中信、南信、東信各地区で年6回、是非、積極的な参加をお勧めします。

微力ながら皆様のお役に立つ活動をして参りたく、よろしくお願いいたします。



**氏名** : 岩淵 省 (建設部門/上下水道部門)

**所属** : 松本市役所

【自己紹介】

大学へ進学して以降、長らく信州を離れていましたが、13年前に地元・安曇野へ戻り、現在は松本市役所で都市計画に関わる業務に従事しています。技術士資格は前職で取得したのですが、一人前の技術者として仕事に携わるうえで資格取得は当然のように認識していたため、深い思慮がないうまま受験したことを記憶しています。資格を有していたことで、職場の先輩に誘われ、当時の長野県技術士会の活動に参加したことがご縁となり、この度は長野県支部幹事に加えていただくことができました。このようなご縁を大切にし、技術を通して長野県の魅力を更に高め、情報発信できるよう、本会活動を通じて貢献したいと思います。よろしくお願いします。



**氏名** : 小宮山 哲昭 (建設部門/総合技術監理部門)

**所属** : 株式会社タイヨーエンジニア

【自己紹介】

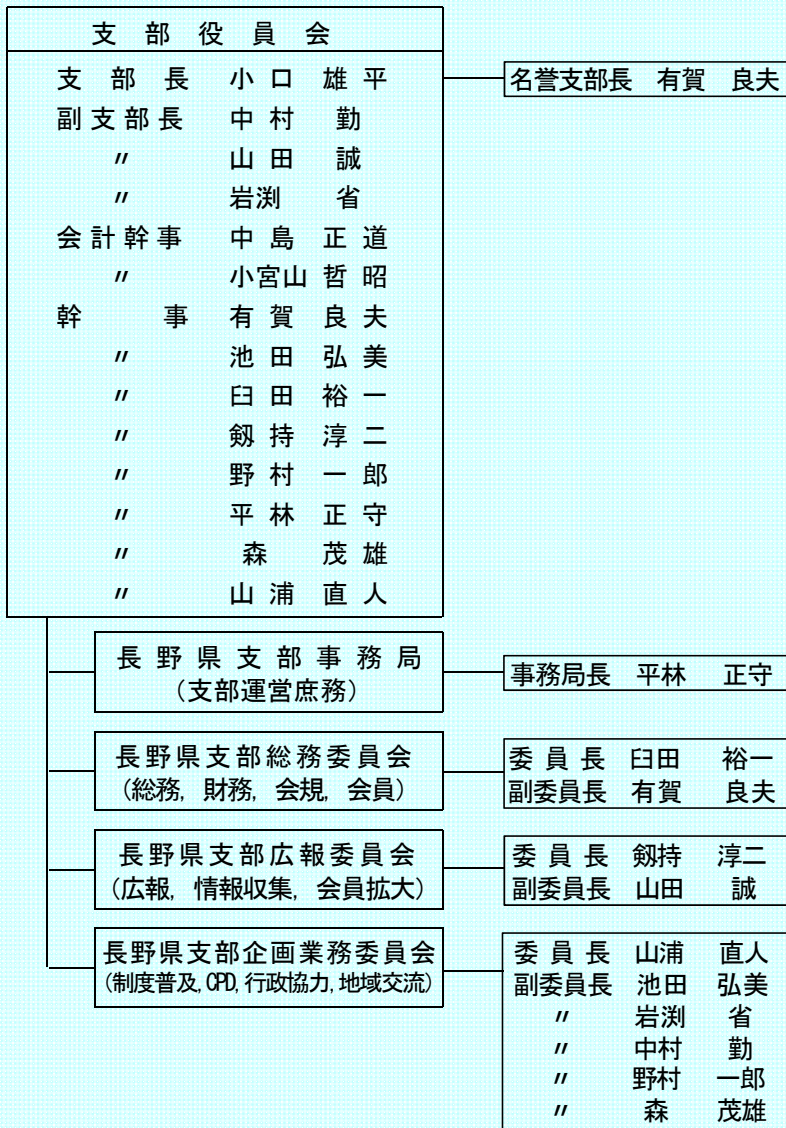
出身は南佐久郡佐久穂町(旧八千穂村)、長野市在住です。大学卒業後、最初の6年間は長野市の建設会社に勤務し、主に施工管理に従事しました。現在は東御市に本社を置く建設コンサルタント会社に勤務し、橋梁の設計に関わっています。技術士取得から16年、技術士会に入会してから5年経ちましたが、今回、会計幹事を務めさせていただきます。これまでの活動で感じたことは、限られた予算の中、支部長はじめ幹事さん方が、大変ご苦勞をされているということです。技術士会の活動を通じ、社会貢献に少しでもお役に立てればと考えています。

よろしくお願いいたします。



# 長野県支部の組織と会員構成

長野県支部組織図(2019・2020年度)



長野県支部の会員構成(2019年11月末現在)

No.	技術部門	会員数	
		正会員	準会員
1	機械部門	18	14
2	船舶・海洋部門	0	0
3	航空・宇宙部門	0	1
4	電気電子部門	18	6
5	化学部門	2	3
6	繊維部門	0	0
7	金属部門	4	1
8	資源工学部門	0	0
9	建設部門	101	22
10	上下水道部門	15	6
11	衛生工学部門	1	0
12	農業部門	8	6
13	森林部門	12	0
14	水産部門	0	0
15	経営工学部門	5	3
16	情報工学部門	3	3
17	応用理学部門	15	1
18	生物工学部門	1	2
19	環境部門	10	3
20	原子力・放射線部門	0	0
21	総合技術監理部門	50	0
部門別の合計数		263	71
会員数		188	60

注1: 複数部門の登録者・合格者等があり、部門別では重複して計上しています。  
注2: 準会員は、技術士第一次試験合格者、日本技術者教育認定機構(JABEE)認定課程修了者、技術士第二次試験合格者で技術士未登録の方です。

## 2019年に行われた行事紹介①

### 『若手技術者への期待』・『地震研究の今』(北信ブロックCPD講演会)

開催日:平成31年3月14日(木)  
会場:長野市生涯学習センター

#### I.概要

講師1:(株)CTプランニング代表 田中 千春氏  
講師2:長野高専 副校長 古本 吉倫氏(環境都市工学科教授)

#### II.感想等

田中氏は、海外での仕事をする上での苦労話や技術士資格取得の動機などについてご講演いただきました。古本氏からは、長野県内を震源とする地震のシミュレーション結果など最近の研究成果を解説して頂きました。



## 2019年に行われた行事紹介②

### 『CPD講演会・平成30年度試験合格者祝賀会』

開催日:平成31年4月13日(土)  
会場:ホテル信濃路

講演1:「ひとりの技術士の歩みと思い」

公益社団法人日本技術士会会長 高木茂知氏

講演2:「技術者倫理」

有賀良夫氏(長野県支部名誉支部長)

祝賀会:一次と二次試験合格者(合計6名)の方の自己紹介が行われ、会場から合格者に普段のお仕事や今後の抱負等について、質問がありました。





## 2019年に行われた行事紹介③

### 『信州型・小エネルギー建築について』（中信ブロックCPD講演会）

開催日：令和元年8月31日（土）  
講師：一級建築士 松橋寿明氏  
会場：朝日村役場新庁舎（講演及び見学会場）

朝日村の全面的な御協力のもと、「環境白書（令和元年版）」において紹介された新庁舎建設の先進的事例（地域資源活用）について、設計にあたった松橋氏に講演して頂きました。また、朝日村職員による施設案内（見学）や職員を含む施設利用者の感想などの紹介も行って頂きました。



※「信州型・小エネルギー」とは、長野県の気候風土や地域特性を活かして、できるだけ小さなエネルギーで性能や効果をもたらし、長期間にわたって維持管理がしやすい建築をつくるという概念であり、省く省エネルギーとは異なるも、それを模した造語です。

## 2019年に行われた行事紹介④

### 『木材の基礎知識と県産材利活用の現状・今後の展望』（東信ブロックCPD講演会）

開催日：令和元年10月20日（日）  
講師：日本木材学会 技術士小委員会 委員 柴田直明氏（農学博士）  
会場：浅間会館（佐久市）

#### I. 講演

講師の柴田氏（元長野県林業総合センター 木材部長）より、長野県がこれまで取り組んだ木材の処理・加工方法の研究成果やその活用事例等について、分かりやすく紹介していただきました。

#### II. 感想等

講演会の約2ヶ月前に行われた中信ブロックCPD講演会で見学した「朝日村役場新庁舎」に採用された特殊加工された建築用材（接着重ね梁）が、長野県発の技術であることを知ることができました。建築の世界では古くから使用されてきた木材でも、より良い材料となるための研究が続けられており、改良された木材が建築だけでなく土木用材として広く活用されていることに驚きました。



## 2019年の広報活動（広報委員会）

### 『長野工業高等専門学校で行った技術士説明会』

JABEE認定校である長野高専の環境都市工学科（5年生）の授業や、長野高専地域共同テクノセンターの「技術セミナー」において、技術士制度や技術資格が果たす役割等について説明会を行いました。

#### 第1回説明会（平成31年1月18日）

支部役員

（小口 雄平 支部長，有賀 良夫 名誉支部長，剣持 淳二 広報委員長）

信州大学 大学院生 小野塚 寧々氏

#### 第2回説明会（令和元年6月21日）

日本ガス工事株式会社 樋口 美樹氏（上下水道部門）

長野県技術管理室 土屋 博幸氏（建設部門/総合技術監理部門）

株式会社ヒューテック 富田 賢司氏（上下水道部門）

#### 技術セミナー（令和元年10月2日）

セイコーエプソン株式会社 山田 誠氏（電気電子部門/総合技術管理部門）

関西電力株式会社 森 茂雄氏（電気電子部門）

### 『企業セミナー（講師派遣）』

企業からの依頼を受け、「技術士」とはどんな資格なのかを説明するセミナーに講師（支部会員2名）を派遣いたしました。

開催日：令和元年11月27日

講師：タカノ株式会社 伊藤 慶太氏（機械部門）

ヒロセ技術士事務所 廣瀬 俊一氏（電気電子部門）

会場：企業セミナーの依頼会社（安曇野市）





## CPD行事の予定

長野県支部では、下記のCPD(継続研鑽)行事を計画しておりますので、是非、ご参加下さい。

### 1.北信地区CPD行事「大災害にどう備えるか」—令和の大水害と歴史的災害

- ・開催日：令和2年2月14日(金) 13:15~16:45
- ・場 所：信州大学工学部 信州科学技術総合振興センター(長野市)
- ・講 師：信州大学工学部准教授 豊田政史氏, 株式会社ラポーザ 代表取締役 荒井克人氏  
一般財団法人 砂防フロンティア整備推進機構 井上公夫氏

### 2.南信地区CPD行事「オフィス内の紙循環サイクル提案」

#### ~PaperLab(ペーパーラボ:乾式オフィス製紙機)の開発秘話と稼働機の見学~

- ・開催日：令和2年2月24日(月) 13:30~16:00
- ・場 所：セイコーエプソン株式会社 諏訪南事業所(富士見町)
- ・講 師：セイコーエプソン株式会社 PL事業推進部 高島 永光氏

### 3.日本技術士会講演会及び令和元年度技術士試験合格者祝賀会

- ・開催日：令和2年4月11日(土) 14:30~16:30  
※合格者祝賀会は 16:30~18:30
- ・場 所：講演会 ホテル信濃路(長野市)
- ・講 演：「一級河川裾花川の災害史・改修史を学ぶ」  
株式会社守谷商会 執行役員 国立長野高専客員教授 宮下 秀樹氏  
「技術者倫理」  
日本技術士会長野県支部 名誉支部長 有賀 良夫氏

## 長野県から委嘱を受けた委員会の紹介

### 1. 長野県建設工事紛争審査会 (事務局 建設部建設政策課)

- ・建設工事の請負契約に関する紛争について、公正・中立な立場に立って、迅速かつ簡便な解決を図ることを目的として、建設業法に基づいて設置された公的機関です。
- ・紛争の解決を図る手続きとして「あっせん」「調停」「仲裁」の3種類があります。  
(手続きは原則非公開)
- ・委員構成 15名 ※内訳(分野)は、法律(弁護士6名)、土木(2名)、建築(建築士5名)  
その他(裁判所関係者2名) 土木分野のうち1名は本支部会員
- ・任期 2年

### 2. 長野県ため池安全対策検討委員会 (事務局 農政部農地整備課)

- ・長野県ため池安全対策検討委員会設置規約に基づく委員会です。
- ・平成23年東日本大震災、29年九州北部豪雨、30年西日本豪雨により多くのため池が決壊等を受けました。ため池の適正な保全・管理を目的として、『点検』『整備』『管理体制の構築』について検討します。
- ・委員構成 4名 ※内訳(職場・機関)は、大学2名、農研機構1名、本支部会員1名
- ・任期 2年
- ・今後、ため池監視システムや本年度の台風によるため池被害を検証し、農業振興の推進と民生安定に向け検討されると考えられます。

### 3. 長野県流域下水道技術アドバイザー会議 (事務局 環境部生活排水課)

- ・長野県流域下水道が行う技術的な業務について、客観的かつ公正に判断し中長期的な観点に基づき効率的かつ適切に執行するため、有識者から意見を聴く当会議を開催する。
- ・有識者は3名 ※内訳は、他に、公益財団法人日本下水道新技術機構、信州大学工学部
- ・任期 2年
- ・流域下水道の建設(改築・更新を含む)、維持管理、計画等に関して、必要なアドバイスを行う。(役職名として日本技術士会長野県支部長の名称を使用しておりますので、ここに記載させていただきます。)



名誉支部長 有賀 良夫  
(建設/総合技術監理)

\* 支部への委嘱の他、行政・団体等から会員への委嘱があります。  
会員各位が多様な分野に参画され、地域貢献をされることを望みます。

## 長野県支部協賛団体を募っています

日本技術士会長野県支部協賛団体の制度が2018年6月から発足し、1年が過ぎました。お陰様で、現在6団体より協賛法人として支部運営の御協力を頂いております。

### 協賛団体とは

長野県支部では、地域的な活動の活性化と地域社会への貢献を目指し活動しております。  
このような活動主旨にご賛同いただける企業・団体様からのご協賛を、広く募集しています。

### 申込方法

所定の様式(協賛団体申込書)で申請をお受けするため、まずは支部事務局にお問い合わせ下さい。  
協賛金は、1口当たり10,000円(年間)です。  
支部役員会の承認後、協賛団体証を発行致します。

### メリット

- (1) 協賛団体の代表又はその代理の者は、当支部年次大会に出席し意見を述べるができる。
- (2) 協賛団体は、当支部会誌又はその他刊行物の配布を無償で受け、当支部の事業成果を当支部の了承を得て利用することができる。
- (3) 協賛団体は、当支部が主催する講演会等（懇親会は除く。）に協賛金1口当たり2名まで無料で参加することができる。

※「長野県支部運営における個別事項に関する手引き」より抜粋

### 協賛団体の紹介

長野県支部の協賛団体は、2019年12月1日時点で次のとおりです。

#### 長野技研コンサルタント株式会社

(<http://ngc-kk.jp/>)

代表者：臼田裕一(代表取締役)

〒381-2204 長野市真島町真島1292

#### 株式会社アンドー

(<http://www.kkandoh.co.jp/>)

代表者：嶋田隆(代表取締役)

〒390-0851 松本市島内3481-1

#### 株式会社 ジッソク

(<https://www.jissoku.jp/>)

代表者：溝口豊(代表取締役)

〒399-4117 駒ヶ根市赤穂1378-2

#### 株式会社みすず総合コンサルタント

(<http://www.e-misuzu.com>)

代表者：増沢延男(代表取締役)

〒386-1102 上田市上田原1073-4

#### 株式会社高見澤

(<https://www.kk-takamisawa.co.jp/>)

代表者：高見澤秀茂(代表取締役)

〒380-0813 長野市緑町1605-14  
高見澤ダイヤモンドビル7階

#### 日本無線株式会社 技術士会

(<http://www.jrc.co.jp>)

代表者：日本無線株式会社 技術士会  
会長 曲淵正敏

〒381-2289 長野市稲里町834

## 編集後記 (長野県支部 広報委員会・事務局)

ご存知の通り、「令和元年台風19号」による未曾有の災害が10月中旬に発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。この災害では、各種イベントが中止になったほか、長野県では、台風19号に関する情報を優先的に提供する目的で、ホームページのトップページを「災害関連のページ」に切り替える等、異例の対応をとっています。

今回の支部会報の作成を着手したのは、災害発生の約2週間後の10月31日です。被災された方や復旧作業に携わる方、その他にも様々な方が災害の対応に追われ、慌ただしい日々を送っている中でしたので、支部会報を発行すべきか悩みました。

私達にとって今回の支部会報(第4号)発行は、「継続すること」と、「今やらないといけないこと」のどちらを優先すべきか考える機会となりました。答えのある話しではないと思いますが、今なお御苦勞をされている被災者の方々を思うと、少なくとも、今回の災害を「発行しないことの言い訳」に使ってはいけないように感じ、発行することとしました。

最後に、大変お忙しい中、編集作業を手伝っていただいた皆様に感謝申し上げます。今後も、1年に1回程度の発行を目指しますので、是非ご協力をお願いいたします。

広報委員会 劔持淳二, 山田 誠  
事務局 平林正守, 雨宮幸絵





**上田電鉄千曲川橋梁（橋長224m, 5連プラットラス型式 撮影 2015年6月）**

上田電鉄別所線千曲川橋梁は、大正13年に「株式会社 上田温泉電軌(現 上田交通株式会社)」が架設した鉄道橋である。大河川に橋を架けることは大事業で、あまたの地方私鉄が国有鉄道からの払い下げ橋桁で橋梁を架設していたのに対して、同社は、独自の設計による新品のトラス桁を千曲川に架設した。

この橋は、まさに近代上田の繁栄を象徴する「赤い橋」で、映画の舞台にもなり地元や鉄道ファンから愛されている。しかし、令和元年台風19号の千曲川の増水により、その一部が崩落し、現在は不通となっている。

一日も早く橋を復旧し、地域の足として、また災害復興のシンボルとしても長くその役割を果たしてほしい。(支部幹事 山浦直人)

## **(公社)日本技術士会 長野県支部**

【支部事務局】

〒390-0851

長野県松本市島内3481番地1 株式会社アンドー内

TEL 0263-48-0480/FAX 0263-48-0009

E-mail : [penagano@penagano.org](mailto:penagano@penagano.org)

URL : [https://www.engineer.or.jp/c\\_shibu/nagano/](https://www.engineer.or.jp/c_shibu/nagano/)